

令和元事業年度

決 算 報 告 書

自：平成31年 4月 1日

至：令和 2年 3月31日

国立大学法人 富山大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	13,434	13,730	295	(注1)
施設整備費補助金	480	335	△ 145	(注2)
補助金等収入	190	253	63	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	44	44	-	
自己収入	25,510	26,375	865	
授業料、入学料及び検定料収入	5,111	5,043	△ 68	(注4)
附属病院収入	20,220	21,064	844	(注5)
雑 収 入	177	266	89	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,270	2,156	△ 114	(注7)
引当金取崩	21	21	-	
長期借入金収入	1,191	1,076	△ 115	(注8)
目的積立金取崩	-	14	14	(注9)
計	43,144	44,007	863	
支 出				
業務費	37,450	37,511	61	
教育研究経費	18,408	17,595	△ 813	(注10)
診療経費	19,041	19,916	874	(注11)
施設整備費	1,716	1,456	△ 260	(注12)
補助金等	190	252	62	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,270	2,149	△ 121	(注14)
長期借入金償還金	1,515	1,496	△ 19	(注15)
計	43,144	42,866	△ 277	
収入－支出	-	1,141	1,141	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分による295百万円の増
- (注2) 事業計画の変更による145百万円の減
- (注3) 予算段階で予定していなかった補助金の獲得による63百万円の増
- (注4) 見込みより受検者数及び入学者数が減り、検定料収入や入学料収入が減ったことによる68百万円の減
- (注5) 増収対策の取組みによる入院単価の増及び外来化学療法等の増加による外来単価の増による844百万円の増
- (注6) 附属病院における施設使用収入の増、予算段階で見込んでいなかった保険金の入金等による89百万円の増
- (注7) 予算段階で想定していたよりも寄附金の受入額が減ったことによる114百万円の減
- (注8) 事業計画の変更による115百万円の減
- (注9) 予算段階で想定していなかった目的積立金の取崩しによる14百万円の増
- (注10) 経費節減により消耗品費や備品費、人件費等の執行額が減ったこと、新型コロナウイルス感染症の影響で旅費等の執行額が減ったことによる813百万円の減
- (注11) 診療業務充実（病院収入の増加）に伴う医療経費の増加等による874百万円の増
- (注12) 事業の計画変更により執行額が減ったことによる260百万円の減
- (注13) (注3) に示した理由により62百万円の増
- (注14) (注7) に示した理由により121百万円の減
- (注15) 予算策定後の金利の見直しによる19百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息102百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。